



# SAP 導入事例集

株式会社アイ・ピー・エス  
Innovation Partner with SAP

# パブリック型ERPを用いて「Fit-to-Standard」を実現し、ものづくりとサービスに120%注力できる企業へ



## 株式会社三和スクリーン銘板

業種：製造

導入ソリューション：SAP S/4HANA Cloud Public Edition



従業員数：1,411名（単体375名）（2022年9月時点）

主な事業：電気製品、自動車用部品、ガス機器等の銘板、表示板、装飾部品の製造

売上高：国内/海外独資関連会社計 240億400万円

国内グループ計 130億5,000万円

※いずれも決算売上計 単体 97億8,100万円 ※2023年9月

### 導入の背景

長年利用していたスクラッチ開発の基幹システムは10年以上運用を続けており、さまざまな課題を解決するにはシステムの根幹の改修が必要な状態になっていた。また、その保守管理、改修を全て社内で行うのは便利である反面、度重なる改修でシステムの仕様が複雑化し、改修を外部委託することも難しくなっていた。システムの属人化が国内、海外の様々な改善のボトルネックにもなっており、業務の非効率化を引き起こしていた。

### プロジェクト概要

#### 導入目的

- 01
  - ▶ モノ作りに注力できるように間接業務を標準化、効率化する
  - ▶ 生産・販売の現状を正確に把握できるように三和グループの「今」を見える化する
  - ▶ 経営をスピード化できるように管理会計を実現、強化する
  - ▶ 原材料、工程など製品の骨格を形作るデータを一元管理する

#### SAPソリューション選定の決め手

- 02
  - ▶ 「標準化」いわゆる「Fit to Standard」への期待
  - ▶ クラウドソリューションの完成度、情報精度の高さと拡張性
  - ▶ グローバルの対応力
  - ▶ 新しいテクノロジーの継続性

#### 導入の効果

- 03
  - ▶ 社内における情報管理／活用の一元化と標準化に伴う生産性の向上
  - ▶ システム運用負担からの解放
  - ▶ 全社的なIT知見と情報活用技術の向上

# ビジネスの状況変化に応じ、迅速なシステム展開を実現 海外拠点にも導入し、グローバル競争力を強化



ナミックス株式会社



従業員数：710名（2023年3月時点）

主な事業：エレクトロケミカル材料の研究・開発、製造、販売

売上高：560億円（2022年度実績）

## 導入の背景

2000年ごろに構築したスクラッチの基幹システムは、ハードウェアやOS、データベースを変更する際にその都度アプリケーションの改修が必要となり、時間・コストの面で課題を抱えていた。業務のやり方に合わせてシステムを構築していたために業務の標準化がされておらず、今後のグローバル展開にも不安があった。また、生産計画や原材料の在庫状況、出荷計画など業務に必要なデータや経営判断に必要な情報が可視化されておらず、競争力強化の足かせになっていた。

業種：製造

導入ソリューション：

SAP ECC

SAP BusinessObjects

## プロジェクト概要

### 導入目的

01

- ▶ パッケージ導入によりランニングコストの削減を図る
- ▶ グローバル展開を視野に入れ、業務標準化による効率化を図る
- ▶ 競争力強化・経営判断のための情報基盤を整備する
- ▶ グローバルで共通システムを導入し、競争力を強化する

### SAPソリューション選定の決め手

02

- ▶ 統合化・標準化に強い
- ▶ 開発期間が短期間で品質が安定している
- ▶ 各国の言語・法令・商習慣に対応している
- ▶ グローバルで豊富な実績がある

### 導入の効果

03

- ▶ ビジネスの状況変化に合わせた迅速なシステム展開
- ▶ 業務の標準化が進んだことで、従来プロセスの見直しと再構築を実現
- ▶ 経営判断のための情報の見える化による、会社競争力の強化
- ▶ 海外との取引比率が50%から80%に増加、売上高も2倍以上に

# データに基づく経営とそれを実現するITの積極活用ができる組織へ トッパダウンによる全社への意識づけにより、短期間でS/4HANAを導入



## NICHIBAN ニチバン株式会社

導入ソリューション:

SAP S/4HANA

業種: 製造



従業員数: 1,270名 (単体771名) (2024年3月時点)

主な事業: 各種粘着テープの製造・販売

売上高: グループ連結 468億円 (2024年3月期)

### 導入の背景

同社は医療材からオフィス用品まで多岐にわたる製品を製造しており、その業務は極めて複雑なシステムにより運営されていた。システム入替以前は、個別最適でのシステム構築が行われており、会計・購買・販売等の基幹システムが、それぞれ固有のパッケージ、またはスクラッチ開発で構築されている状況であり、新中期経営計画をIT側面から実現するにあたっての足かせとなっていた。

### プロジェクト概要

#### 導入目的

01

- ▶ 基幹業務の整理とシステム/データの統合
- ▶ データを一元化し、戦略的な意思決定ができる組織に変える
- ▶ 個別最適化の文化を変革する
- ▶ 海外市場を見据えて成長する経営目標を達成する

#### SAPソリューション選定の決め手

02

- ▶ 国内、海外ともに業務標準化できるグローバル標準のERP
- ▶ テンプレート活用により、短期間で品質の良いシステム導入の実現
- ▶ グループ全体の人材流動性を高める
- ▶ スピーディーにグローバル展開が可能

#### 導入の効果

03

- ▶ 意思決定の土台となるデータを蓄積
- ▶ 現場の情報を可視化し、業務プロセスを全体最適・標準化
- ▶ 全社のデータが整理され、ユーザー部門の従業員が活用可能に